

製品名: RPA70 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87745**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:10-1:50
分子量	Calculated MW:68 kDa; Observed MW:70 kDa

抗原情報

遺伝子名	RPA70
別名	HSSB; RF-A; RP-A; REPA1; RPA70; MST075
遺伝子 ID	6117
SwissProt ID	P27694
免疫原	ヒト RPA70 の合成ペプチド

背景

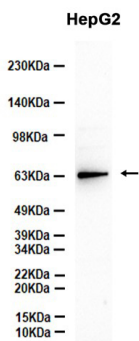
この遺伝子は、ヘテロ三量体複製タンパク質 A (RPA) 複合体の最大サブユニットをコードしています。RPA 複合体は一本鎖

DNA (ssDNA) に結合し、DNA 代謝において重要な役割を果たす核タンパク質複合体を形成します。この複合体は DNA 複製、修復、組換え、テロメア維持に関与し、毛細血管拡張性運動失調症および Rad3 関連タンパク質 (ATR) キナーゼの活性化を介して DNA 損傷に対する細胞応答を調整します。核タンパク質複合体は、一本鎖 DNA をヌクレアーゼから保護し、修復を妨げる二次構造の形成を防ぎ、さまざまなゲノム維持因子のリクルートメントと脱離を調整します。このサブユニットには 4 つのオリゴヌクレオチド/オリゴ糖結合 (OB) ドメインが含まれますが、ssDNA 結合の大部分はこれらのドメインのうち 2 つで発生します。ヘテロ三量体複合体は、低親和性モードと高親和性モードという 2 つの異なる ssDNA 結合様式を有し、これらはどの ssDNA 結合ドメインが利用されるかによって決定される。これらの異なる結合様式は、結合する DNA の長さや相互作用するタンパク質によって異なり、それによって異なるゲノム維持経路の制御に役割を果たしている。[RefSeq 提供、2017 年 9 月]

研究分野

-

画像データ



RPA70 ウサギモノクローナル抗体を 1:3000 で使用して HepG2 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。